

「川崎市地方卸売市場南部市場の今後の運営に関する基本的な考え方（案）」  
に関するパブリックコメントの実施結果について

## 1 概要

南部市場は老朽化等の課題があること、令和7(2025)年度末で『卸売市場経営プラン』の計画期間、指定管理者の指定期間が終了すること等から今後の運営方針について検討を進めてきました。このたび、南部市場の位置付け、開設者、本市としての関与等について、「川崎市地方卸売市場南部市場の今後の運営に関する基本的な考え方(案)」(以下「『基本的な考え方』案」という。)として取りまとめ、広く皆様から御意見を募集しました。

その結果、48通(意見総数80件)の御意見をお寄せいただきましたので、その内容とそれに対する本市の考え方を次のとおり公表します。

## 2 意見募集の概要

題名	「川崎市地方卸売市場南部市場の今後の運営に関する基本的な考え方(案)」について
意見の募集期間	令和6年11月28日(木)から令和7年1月10日(金)まで
意見の提出方法	電子メール(専用フォーム)、ファクス、郵送、持参
募集の周知方法	・市ウェブサイト ・情報プラザ(川崎市役所本庁舎2階) ・各区役所・支所及び出張所の閲覧コーナー、各市民館、各図書館 ・中央卸売市場北部市場(川崎市宮前区水沢1-1-1管理事務所棟3階) ・地方卸売市場南部市場(川崎市幸区南幸町3-126-1管理事務所棟3階)
結果の公表方法	・市ウェブサイト ・情報プラザ(川崎市役所本庁舎2階) ・各区役所・支所及び出張所の閲覧コーナー、各市民館、各図書館 ・中央卸売市場北部市場(川崎市宮前区水沢1-1-1管理事務所棟3階) ・地方卸売市場南部市場(川崎市幸区南幸町3-126-1管理事務所棟3階)

## 3 結果の概要

意見提出数(意見総数)		48通	(80件)
内 訳	電子メール(フォーム)	46通	(74件)
	FAX	2通	(6件)
	郵送	0通	(0件)
	持参	0通	(0件)

#### 4 意見の内容と対応

今回のパブリックコメント手続きでは、地域密着型食品流通の拠点として市民に親しまれる南部市場の推進に向けたイベント、PR、施設の活用等に関する取組、開設者や公共関与のあり方、施設の老朽化等の問題に対応できるよう再整備を求める意見や要望などが寄せられました。

寄せられた意見が、案に沿ったもの、今後の取組を進めていく上で参考とさせていただくもの、案に対する質問・要望などであったことから、用字・用語の整備を行った上で、『川崎市地方卸売市場南部市場の今後の運営に関する基本的な考え方』を取りまとめました。

##### (1) 意見に対する対応区分

- A：意見を踏まえ、案に反映したもの
- B：意見の趣旨が案に沿ったものであり、意見の趣旨を踏まえ、取組を推進するもの
- C：今後の取組を進めていく上で参考とするもの
- D：案に対する質問・要望の意見であり、案の内容を説明・確認するもの
- E：その他

##### (2) 意見の件数と対応区分

項目	A	B	C	D	E	計
(1) 『基本的な考え方』全般に関すること		6				6
(2) 市場の運営、機能・規模・設備に関すること		10	16			26
(3) 市場の位置付け、開設者、公共関与に関すること		12				12
(4) 食文化の発信や地域貢献に関すること		19	5	5		29
(5) 都市計画・交通環境に関すること				2		2
(6) その他					5	5
合計	0	47	21	7	5	80

## 5 具体的な意見の内容と市の考え方

### (1) 『基本的な考え方』全般に関すること (6件)

No.	意見の概要	意見に対する本市の考え方	区分
1	本資料の内容について賛成する。一般の方が使いやすく、業者の方も仕事がしやすい新しい市場になることを期待する。 (同趣旨他1件)	『基本的な考え方』案に基づき、令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、施設の老朽化等の問題への対応を踏まえた今後の施設のあり方に関して方向性を示すため、サウンディング調査等による民間事業者等の意見聴取を行い、検討を深めるとともに、指定管理者、場内事業者をはじめとする関係者と連携・協力しながら、着実な事業推進を目指して検討を進めてまいります。	B
2	数か月前から家庭用食材の調達のため水産棟に足を運んでいる。本資料について建替え等に賛成である。		B
3	明らかに前に攻めている姿勢がとても良い。今の時代「現状維持」は「退歩」だと考える。色々アクションを起こすことはとても良い。当社としても動き続けて是非とも歩を止めることなく努力したい。川崎市・指定管理者には日頃より感謝している。		B
4	地域の状況、物流の状況及び環境面等を考慮することが必要と考える。	南部市場は、本市の中心市街地に位置しており、市内だけでなく都内や横浜市といった市外とのアクセスも優れるとともに、周辺は住宅地や商業施設をはじめとした様々な機能が集積しております。また、国道1号や県道川崎町田線(尻手黒川道路)が至近を通るほか、首都高速道路のインターチェンジからも近く、物流面においても優れた立地環境にあります。こうした立地特性を踏まえ、周辺環境等に配慮しながら、南部市場のビジョンである「地域密着型食品流通の拠点」として今後も運営していけるよう、引き続き、指定管理者、場内事業者をはじめとする関係者と連携・協力しながら、検討を進めてまいります。	B
5	再整備に関しては地域や首都圏の食の供給面で大変重要だと思う。	南部市場は、本市の中心市街地に位置しており、市内だけでなく都内や横浜市といった市外とのアクセスも優れるため、市外への供給拠点としての役割も有しています。市民に安定的に供給するためには、産地か	B

		ら選ばれる卸売市場となり安定的に荷を集められることが重要であるため、販売先の確保とともに、施設の老朽化等の問題への対応も重要と考えております。令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、施設の老朽化等の問題への対応を踏まえた今後の施設のあり方に関して方向性を示すため、『基本的な考え方』案に基づき、場内事業者をはじめとする関係者と連携・協力しながら、着実な事業推進を目指して検討を進めてまいります。	
--	--	---	--

## (2) 市場の運営、機能・規模・設備に関すること (26件)

No.	意見の概要	意見に対する本市の考え方	区分
1	都内、川崎市、横浜市からのアクセスという点で立地が良く、「いちばいち」、「夕祭」、年末などの一般の来場者の多さに驚いている。しかし、店舗数や商品の種類、量については、例えば、普段は青果を販売していなかったり、精肉店、食堂の店舗数が少なかったりということがあり、バリエーションが豊富かということ、足りていないと感じる。 (同趣旨他1件)	南部市場では、青果部及び花き部において一般消費者向けに店舗販売を行う仲卸業者が不在の状況ですが、「食鮮まつり」、「いちばいち」、「夕祭」等のイベントの際には、一般消費者への販売を実施しております。店舗構成については、持続的な運営により生鮮食料品等を安定的に供給するという卸売市場の社会的使命を果たすため、新規出店の際には、経営計画等を確認した上で業務許可の審査を行っております。「地域密着型食品流通の拠点」として、今後もより市民等に親しまれる卸売市場として運営を続けていくため、一般消費者等のニーズの把握に努めるほか、気軽に御利用いただける場所となるような施設運営、取組等について、引き続き、検討を進めてまいります。	C
2	業者、一般消費者の垣根がなく利用できるため以前は頻繁に利用していたが、最近では鮮度と取扱品目の縮小からあまり利用していない。これまで出店していた事業者が高齢化などで事業終了し、新規参入した事業者は大手チェーン店などで市場らしさがあまりない。個人経営者が店を構えやすくすることで独自性が生まれ、在庫の回転率も上がり、鮮度の良い商品を置きやすくなるのではないかと。		C
3	一部、南部市場にある必要があるのか		C

	<p>が疑問の店舗があるため店舗の見直しが必要ではないか。水産物部については、加工食品のみで鮮魚と全く関係ないものしか売っていない店舗があり、水産棟のコンセプトがはっきりしていないように感じる。水産棟のコンセプトに合わせて一部店舗の見直しを行うか、鮮魚以外のお店は各店舗の特徴を際立たせると来客者にとって魅力的になると感じる。青果部については、「いちばいち」や「食鮮まつり」では活気があるがそれ以外の時が寂しいと感じる。農産物の生産者に朝市等で出店してもらえると活気が出るのではないか。関連事業者については、市場にある意味がいまいち良く分からない店舗がある一方で、給食で出る食材を扱っている等、店舗によってはコンセプトがはっきりしているので興味のある方は買いに行くのではないか。</p>		
4	<p>川崎市には北部市場と南部市場があるが、それぞれの役割があると思う。川崎市を支える両輪として、2つの市場がそれぞれの役割を果たせるよう機能更新が必要であると考え。特に南部市場は、老朽化が著しいが、今後も地域に密着するとともに、災害時の物流拠点や市民の安全・安心な生活基盤のインフラとしての機能を担えるように建物の建替えを早急に望む。 (同趣旨他1件)</p>	<p>南部市場は、災害時を含めて市民等へ生鮮食料品等を安定的に供給する拠点として重要であります。施設の老朽化や災害時の支援物資拠点等としての機能発揮に関する問題を抱えており、既存施設への対応が必要であると認識しております。令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、これらの問題への対応についての方向性を示すため、『基本的な考え方』案に基づき検討を進めてまいります。</p>	B
5	<p>南部市場は、安定的な食料確保の点からも機能更新、強化をしていくことが望ましいと考える。</p>		B
6	<p>南部市場は老朽化が激しいが、設備更新をすることにより、効率化、衛生化、安全化が図れ、もっとポテンシャルを発揮できるのではないか。</p>		B

7	中学校給食を始めた川崎市だからこそ、学校給食に安全で衛生的な物資を届けるなどの機能をあえて強化した市場にすることなどに取り組んでほしい。	『基本的な考え方』案「第4章2(1)ア 市民等への生鮮食料品等の供給に関する状況」に記載のとおり、南部市場から市内の小学校及び中学校給食向けに食材が供給されており、重要な役割を担っております。学校給食をはじめとして、市民等へ安全で衛生的な食材を供給することは卸売市場としての使命であると認識しております。令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、今後の施設のあり方に関して方向性を示すため、『基本的な考え方』案に基づき、引き続き、検討を進めてまいります。	B
8	一般消費者の集客には食堂の充実が不可欠である。市場直結で新鮮材料を使用した食堂の拡充をお願いしたい。営業時間も延長してほしい。 (同趣旨他1件)	南部市場が「地域密着型食品流通の拠点」として市民等の食生活を支えるとともに、親しまれる卸売市場としての運営を続けていく上では、店舗販売だけでなく、卸売市場ならではの食事を楽しめるという点も重要であると認識しております。令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、施設の老朽化等の問題への対応を踏まえた今後の施設のあり方に関して方向性を示すため、今後、敷地内の施設の機能・規模等について、食堂も含めて検討を進めてまいります。	C
9	食堂については、チェーン店などは不要である。		C
10	南部市場の強みである新鮮な食材や卸売機能と連携し、サウナ後の「サウナめし」や魚介料理などを売りにした飲食店街の拡充についても検討いただきたい。		C
11	「食鮮まつり」、「歳末いちばいち」など、毎年楽しんで買い物をしている。年々、買い物客が増えているように感じる。順番待ち等のトラブルを目にしたことがありスタッフの人数が少ないのではないかと感じる。場内で安全に過ごせることを望む。	「食鮮まつり」をはじめとしたイベントの開催時など、大変多くの方に御来場いただいております。南部市場が市民等の食生活を支えるとともに、親しまれる卸売市場として運営を続けていく上で、御来場いただいた方が安心して快適に過ごしていただくことが重要と認識しておりますので、引き続き、指定管理者や場内事業者と連携・協力しながら、平時も含めた安全確保に関する取組を進めてまいります。	C

12	駐車場の動線について、駐車場が施設を取り囲んでいるため、小さい子供との移動にハラハラすることがある。	既存施設においては歩行者と車両の動線が交錯しており、安全面で問題を抱えていると認識しておりますので、指定管理者等と連携し、引き続き、警備員の配置等による安全確保に努めてまいります。また、今後、施設のあり方を検討する際には、来場者の安全確保と事業者の作業効率向上を両立できるように取組を検討してまいります。	C
13	施設の表示方法について、一般の来場者が利用可能な施設がどこであるかが分かりにくい。	御来場いただいた方が南部市場で快適にお過ごしいただけるよう指定管理者と連携・協力し、敷地内における案内表示のほか、ウェブサイトをはじめとするPRにより、一般来場者が利用可能な施設が分かりやすくお伝えできるように努めてまいります。	C
14	仲卸業者の拠点としての機能の明確化を図った方が良い。	仲卸業者は、各事業者の経営計画等に応じて、卸売業者等から仕入れを行い、小売店、飲食店、一般消費者等に向けて販売を行っております。卸売市場が生鮮食料品等を安定的に供給する拠点としての社会的使命を担っていること、また、仲卸業者は最終消費者に近い位置付けであることから、「地域密着型食品流通の拠点」という南部市場のビジョンを推進するために重要な役割を担っていると認識しております。今後も、各事業者が各々の経営計画等を円滑に推進できるよう、各事業者の現状や経営計画等の情報把握や必要に応じた経営支援に努め、仲卸業者全体の機能の底上げや活性化に向けた取組を検討してまいります。	C
15	是非今後も利用していきたい。幸区に帰ってきて3年になるが、土曜日の買い物を楽しみにしている。花を買える機会が少なくなったのがとても残念である。	「食鮮まつり」をはじめとしたイベント時には、一般消費者向けにも花きの販売を行っておりますが、今後も「地域密着型食品流通の拠点」として、より市民等に親しまれる卸売市場として運営を続けていくため、引き続き、指定管理者等と連携し、一般消費者が気軽に御利用いただける場所となるような取組を検討してまいります。	C

16	<p>今の施設はとても古く、市民からすると入りづらい雰囲気もある。施設設備によりリニューアルすることでコールドチェーンなどの流通面・衛生面が改善されることも必要だが、誰でも入りやすい雰囲気の市場になると良いと考える。特色のある設備や川崎市ならではの商品を取り扱うことで、メディアなどにも大きく取り上げられるようになれば、今以上に賑わって楽しい市場になると考える。</p>	<p>一般消費者等のニーズに応えるため、コールドチェーンに代表される品質管理の向上や、食の安全・安心の確保に向けて、施設等のハード面の対応が必要であると認識しております。令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、今後の施設のあり方に関する方向性を示すため、『基本的な考え方』案に基づき検討を進めてまいります。また、今後もより市民等に親しまれる卸売市場として運営を続けていくためには、ハード面の取組に加え、各店舗の販売における創意工夫や、イベント、PRの充実といったソフト面の取組も重要であると考えております。指定管理者、場内事業者等と連携し、気軽に御利用いただける場所となるような取組について、引き続き、検討してまいります。</p>	B
17	<p>イベントの際に訪れると、こんなにたくさんの方が南部市場のことを知っているのかと驚く。現状の施設では、キャパシティが不足している。老朽化した施設を整備し、複層化して効率的に使用すれば、安全で利用しやすい市場になるのではないかと。</p>	<p>南部市場では、早朝の繁忙時間帯等における荷捌き及び大型車の駐車・待機に関するスペースが不足しているほか、敷地内の利用可能な施設はほぼ全て利用されており、事業拡大を計画する場内事業者の要望に応えられていない状況です。令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、今後の施設のあり方に関する方向性を示すため、『基本的な考え方』案に基づき適切な施設規模や、場内の安全に配慮した施設配置等について、引き続き、検討を進めてまいります。</p>	B
18	<p>施設の老朽化の改善、場内事業者の冷蔵・冷凍庫の確保、荷捌き場、駐車場なども必要かと考える。</p>	<p>施設の老朽化等をはじめとした南部市場が抱える問題を踏まえ、令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、施設のあり方に関する方向性を示すため、『基本的な考え方』案に基づき、卸売市場として必要な機能やその適切な規模等について、引き続き、検討を進めてまいります。</p>	B
19	<p>買ったものを運ぶのに自家用車が必須のため、今後の活用、開発の計画の際には、駐車場確保をセットで検討していただきたい。</p>	<p>施設の老朽化等をはじめとした南部市場が抱える問題を踏まえ、令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、施設のあり方に関する方向性を示すため、『基本的な考え方』案に基づき、卸売市場として必要な機能やその適切な規模等について、引き続き、検討を進めてまいります。</p>	B

20	飲食店を初めて開店したい市民へのスペース提供を期待している。立地の良いこの場所で盛り上げて欲しい。そのような施設になって欲しい。	地域経済の活性化を図るため、創業支援をはじめとした経営支援は重要であると認識しております。国や本市が実施する適切な支援策の紹介、経営支援を行う関係機関への仲介等を積極的に行うとともに、「地域密着型食品流通の拠点」というビジョンの実現のためにも、市民等が新規出店しやすい環境作りについて、検討を進めてまいります。	C
21	南部市場の施設を再整備する際には、国内外から広く集客できる魅力溢れた場外市場施設を併設した複合施設にすることで、敷地の高度利用と賑わい創出を実現し、南部市場の活性化、市の収入確保、イメージの向上までを含め、同時に達成していただきたい。	南部市場の交通環境の良さや、周辺に様々な施設が集積している中心市街地にあるという立地特性は強みであり、市内、市外、さらには海外からのインバウンドも含めて、集客拠点としての高いポテンシャルを有していると考えております。また、『基本的な考え方』案「第4章4(1)既存施設の現状を踏まえた今後の方向性に関する視点」に記載のとおり、長期的な運営を継続するのであれば、本市の費用負担の平準化等、自立的な市場運営が可能な構造への転換に向けた検証が必要であると考えております。建替えによって老朽化をはじめとした南部市場が抱える問題を解決するとともに、改修・修繕等の費用削減と収入増加を両立させるといった可能性があると考えております。今後も南部市場の強みを活かしながら地域や市民等に貢献していけるように取組を進めてまいります。これらを踏まえて、令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、施設の老朽化等の問題への対応を踏まえた今後の施設のあり方に関して方向性を示すため、『基本的な考え方』案に基づきサウンディング調査や民間事業者への意見聴取を行う等、検討を進めてまいります。	B
22	設備を新しくする上で初期費用の負担が大きくなる。多種多様な設備について、初期投資を抑えた導入が可能にな	設備更新を行う際には、全体のコスト削減により財政負担を抑えるとともに、適切な効果を発揮できるようにすることが重要と	C

	り、ランニングコスト削減につながるサービスもあるのでそういったことも念頭に置いて検討いただくと良いのではないか。	考えておりますので、情報収集や民間事業者等と意見交換等を行いながら検討を進めてまいります。	
23	<p>概要版の「第3章 南部市場の今後の方向性の検討に向けた整理 2 南部市場が抱える問題 (6)災害時の支援物資拠点としての機能発揮」において、「大型車向けの動線や、荷捌きに必要なフォークリフト等の資機材の確保がしやすい一方、非常用電源設備等の設備がなく、電気等のインフラが長時間途絶えた中での支援物資の保管・荷捌きに係る業務と、早期復興に必要な食品流通業務の併存が困難」という記載がある。本資料に賛成の立場から、災害時の拠点としての機能を強化すると同時に、省エネ・脱炭素・レジリエンスの観点を取り入れることが可能と考える。太陽光発電や蓄電池、燃料電池等のシステムを設置し、エネルギーの自給自足を図ることで、平時におけるデマンドレスポンス(DR)や災害時におけるエネルギー供給の確保を進めると同時に、市場内のモビリティを電動化し、CO<sub>2</sub>排出量の削減を図ることを提案したい。</p>	<p>『基本的な考え方』案「第4章 3(6)災害時の支援物資拠点としての機能発揮への対応」に記載のとおり、既存施設の大規模改修や新規施設の整備に合わせて、災害時には、支援物資拠点機能を確保しながら、卸売市場としての生鮮食料品等の供給機能が併存できるような仕組みや施設構造等についての検討が必要であると考えております。また、『川崎市地球温暖化対策推進基本計画』において、公共施設における温室効果ガスの削減目標が定められていることなどから、脱炭素等の環境に配慮した取組も重要と考えておりますので、情報収集や民間事業者等と意見交換等を行いながら検討を進めてまいります。</p>	C

(3) 市場の位置付け、開設者、公共関与に関すること (12 件)

No.	意見の概要	意見に対する本市の考え方	区分
1	川崎市には北部市場、南部市場の2市場があるが、市民の食を支え、災害時の拠点ともなるべきであり、万が一、片方の市場が使用不能になっても、もう一方が補完できるような体制が望ましいと考える。 (同趣旨他1件)	『基本的な考え方』案「第4章2(1)本市における卸売市場の体制」に記載のとおり、近年、気候変動や紛争等により、生鮮食料品等の確保が課題となる中、卸売市場が持つ安定的な生鮮食料品等の供給機能や役割は、今後、ますます重要になると認識しております。北部市場だけでなく、南部市場も本市の重要な拠点であり、引き続き、両市場がそれぞれの役割を果たし、本市の発展に貢献できるよう積極的に活用することが重要であると考えております。令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、本市の卸売市場のあり方についても整理するため、『基本的な考え方』案に基づき、引き続き、検討を進めてまいります。	B
2	昨今の気候変動により食料が不足したときに、川崎市内の集積拠点が複数あることでリスクヘッジができるのではないか。	『基本的な考え方』案に基づき、引き続き、検討を進めてまいります。	B
3	今後、食料の安定供給はさらに大事になるのではないか。そのような中、民間事業者が開設者になった場合、卸売市場としての継続性がなくなることを懸念している。ライフラインに関わる大事なことなので、行政が関わって市場の運営を継続することが肝要である。卸売市場というシステムをアップデートし、災害や気候変動による食料不足などにも対応していくべきである。	農林水産省の『卸売市場に関する基本方針』において、開設者には、地域住民の生鮮食料品等の安定供給に対するニーズに応えつつ、高い公共性を果たすことが求められております。また、卸売市場には持続的な運営による生鮮食料品等の安定供給という社会的使命があると認識しております。さらに、今後も本市が開設者となる場合には、本市が実施・支援する学校給食、市内農業、こども食堂等の行政施策について、本市の担当部署と内部連携を図ることで、	B
4	公設市場であることにより場内の事業者の利益だけでなく公共性の高い事業ができるのではないか。	連動した取組が実施しやすいと考えております。これらを踏まえ、『基本的な考え方』案に基づき、令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』	B
5	世界的な人口増加に伴い、生鮮食料品の安定供給は今後より重要となるため、行政として今後もしっかり取り組んでいただきたい。	において、公設市場及び民設市場の特徴を比較検討すること等により、開設者のあり方についても整理するため、引き続き、検討を進めてまいります。	B

6	<p>食の供給は、社会の中で一番重要であるとする。スーパーやコンビニ等、以前とは違い、食品を調達できる手段は多種多様にあるが、災害などが起こり、物流が混乱した時には、行政の運営する市場の存在は必須であるとする。東日本大震災の時、様々な場所で起こった「モノ不足」の中でも、市場には優先してモノが来ていた。平時は民間事業者が賄えるとしても、異常事態が起こった時こそ行政の運営する市場の重要性が再認識されると考える。</p>		B
7	<p>南部市場は昭和19年の市場開設より80年にわたり地域に根差している。その間、周辺環境や社会経済構造は変わったが、時代時代の役目を果たしてきた。本資料に沿う形で川崎市のこれから先の100年を支える市場として、今後ともこの地で役目を果たしていくことを希望する。 (同趣旨他1件)</p>	<p>南部市場は、生鮮食料品等の供給だけでなく、食育や食文化の発信の充実をはじめとして、さらなる市民貢献が可能なポテンシャルを持つ施設と考えております。また、近年の気候変動等により、生鮮食料品等の確保が課題となる中、卸売市場が持つ安定的な供給機能や役割は、食料安全保障の観点からも今後、ますます重要になると認識しております。「地域密着型食品流通の拠点」としての役割を果たし、本市の発展に貢献できるよう、南部市場を積極的に活用することが重要であると考えております。</p>	B
8	<p>食品ロスによる食材を、増加する貧困家庭の支援にまわすなど、市場としての新しい取組が必要ではないか。市場は時代に合わせて変えながら、きちんと存続させるべきである。</p>	<p>令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、本市の卸売市場のあり方についても整理するため、『基本的な考え方』案に基づき、引き続き、検討を進めてまいります。</p>	B
9	<p>お腹も心も満たしてくれる南部市場に感謝の気持ちでいっぱい、これからも長く続いて欲しい。応援している。</p>		B
10	<p>社会科見学で訪れる小学生達の楽しそうで賑やかな声をよく耳にする。子ども達が食品流通について学べる場所として、身近に市場があることは重要であり、公設市場だからこそ、このような学びの場をスムーズに公立学校の授業の一つに取り入れられるのではないかな。</p>	<p>生鮮食料品等の供給に加え、食育や食文化の発信の充実をはじめとして、さらなる市民貢献に向けた取組を進めることが重要であると認識しており、本市が実施・支援する学校給食、市内農業、こども食堂等をはじめ、行政施策と連動した取組を進めることは、地域に貢献し、親しみやすい卸売市場の実現につながるものと考えております。こうしたことも踏まえ、令和7年度に</p>	B

		策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、公設市場及び民設市場の特徴を比較検討すること等により、開設者のあり方についても整理を進め、市民に親しまれる市場の実現に向けた検討を進めてまいります。	
--	--	--	--

#### (4) 食文化の発信や地域貢献に関すること (29件)

No.	意見の概要	意見に対する本市の考え方	区分
1	南部市場の1年に1回のお祭りである「食鮮まつり」をはじめ、イベントの回数をもっと増やしてほしい。 (同趣旨他3件)	南部市場では、毎月第2土曜日に「いちばいち」を開催しているほか、毎年11月には年1回の恒例イベントとして「食鮮まつり」を開催しており、令和5年度は地域の皆様を中心に約18,000人の方に御来場いただきました。また、市場が稼働していない時間帯を活用した新たなイベントとして、令和5年12月に「夕祭」を初めて開催し、今後も定期的なイベントとして取り組んでいくこととしています。このように現状の環境下で様々な制約がある中でも、一歩ずつ着実に、より良い南部市場を作り上げていくために取組を積み重ねていく、という姿勢を持ち、施設の有効活用や地域の賑わいづくり等を進めることは重要であると認識しております。指定管理者、場内事業者等と連携・協力し、イベントをはじめ新たな取組について、『基本的な考え方』案に基づき、様々な事例も参考にしながら検討を進め、地域の皆様に気軽に御利用いただくことができ、地域に愛される場所となることを目指してまいります。	B
2	市場に頻繁に通っているが、「いちばいち」や「食鮮まつり」のようなイベント時は賑わっているものの、それ以外は閑散としているように感じる。八戸の「館鼻岸壁朝市」のように定常的に毎週朝から屋台等が出店すれば、南部市場の朝市として知名度が上がり、近隣住民だけでなく、県外やインバウンド需要も見込めるのではないか。 「モノ」より「コト」に対する消費が高まっている中、様々なイベント企画を充実させると活性化につながるのではないか。これまでの「食鮮まつり」でも屋台展開のノウハウはあるのでうまく展開できると良いと思う。		B
3	広い敷地を利用し、地域住民から出店店舗を募集し、手作り品の販売やバザー等を定常的に行うことで子どもから高齢者まで幅広く参加できる憩いの場所となると良いのではないか。幸区小倉神社で毎週第1日曜日に開催している朝市が参考になると思う。今後、南部市場がよりいっそう魅力的な市場となる為の一助となれば幸いである。		B

4	<p>南部市場はプロが専門的な取引をする殺伐とした市場と違い、一般消費者にも優しく声をかけてくださるフレンドリーな市場であり、一般消費者慣れしている地域密着型の市場の良さだと感じる。魚の捌き方や美味しい食べ方を詳しく教えてくださり、自炊能力が格段に高くなり食費が浮くようになっただけでなく、魚を沢山食べるようになり健康になったと感じる。物価高騰の昨今、こうした市場があって本当に助かる。南部市場にはこうした市民の生活力を上げる魅力があるので是非活かしていただきたい。飲食店の充実に加え、魚の料理教室や知識講座、市場での買い方ツアーなどのイベントを通して、市民フレンドリーな市場を目指していただけると嬉しい。魚をお得に美味しく食べたいが、市場に行くのは怖いという市民はたくさん隠れていると感じており、こうしたイベントが南部市場を利用する良いきっかけになると考える。今後も南部市場は川崎市民の生活の支えになる市場であることを心から願っている。頑張ってもらいたい。</p>	<p>南部市場が「地域密着型食品流通の拠点」として市民等の食生活を支えるとともに、親しまれる卸売市場としての運営を続けていく上では、店舗販売だけでなく、卸売市場ならではの食事を楽しめるという点も重要であると認識しております。また、食文化の発信や地域貢献に関する取組に関する今後の取組として、既に行っている料理教室等のイベントに加え、『基本的な考え方』案「第4章2(1)エ 今後の発展性に関する視点」に記載のとおり、市内農業者を講師に招き、市内産農産物と南部市場の魚介類等を活用した料理教室を開催すること等の取組が考えられます。これらを踏まえ、指定管理者、場内事業者と連携し、一般消費者が気軽に御利用いただける場所となることや、地域に貢献し市民にとって必要とされる場所の実現に向けた取組について、引き続き、検討してまいります。</p>	B
5	<p>安心、安全、新鮮な食品を扱い、立地的にも購入しやすい南部市場は、市民の食生活を守り災害時の食料難にも大きな役割を果たすと考える。地域に根ざした南部市場の活性化、今後の発展を期待している。 (同趣旨他1件)</p>	<p>南部市場の交通環境の良さや、周辺に様々な施設が集積している中心市街地にあるという立地特性は強みであると認識しておりますので、今後もその強みを活かし、「地域密着型食品流通の拠点」としての機能の底上げを図ることが重要と考えております。「食鮮まつり」、「いちばいち」、小学生向けの市場体験、場内事業者等を講師とした料理教室等のイベント開催に加え、今後も、地域や市民等に貢献できるよう、卸売市場ならではの取組を通じて「食育」や「食文化の発信」の取組について検討し</p>	B
6	<p>立地特性を活かした運用について市民目線で今後の要望について意見を申し上げたい。南部市場は地域住民にとって「生活力の上がる市場」だと考えており、今後もそうあって欲しい。</p>	<p>小学生向けの市場体験、場内事業者等を講師とした料理教室等のイベント開催に加え、今後も、地域や市民等に貢献できるよう、卸売市場ならではの取組を通じて「食育」や「食文化の発信」の取組について検討し</p>	B

		てまいります。また、南部市場は、災害時も含めて市民等へ生鮮食料品等を安定的に供給する拠点として重要であると認識しております。令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、施設の老朽化等の問題への対応を踏まえた今後の施設のあり方に関して方向性を示すため、『基本的な考え方』案に基づき、引き続き、検討を進めてまいります。	
7	いつも利用している。車ですぐ、鉄道やバスでも利用できる好立地にあるため大変助かっている。他にも魚屋はあるが南部市場が一番好きである。市場でありながら一般消費者にも販売を行っており、土曜日の営業、イベントも頻繁にあるため、活気があり楽しませてもらっている。店舗の方によく声をかけていただいたり、お土産をくださったりと人情味ある素晴らしい市場である。	南部市場が「地域密着型食品流通の拠点」として市民等の食生活を支えるとともに、親しまれる卸売市場として運営を続けていく上では、一般消費者にも気軽に御来場いただき、楽しんでお過ごしいただける場所となることが重要であると認識しております。今後も御利用いただいている方の声をいただきながら、各店舗の販売における創意工夫や、イベント、PRの充実等について、『基本的な考え方』案に基づき、引き続き、卸売市場ならではの取組を検討してまいります。	B
8	店舗の人の雰囲気や市場でしか味わえない昔ながらの雰囲気を残して欲しい。スーパーやコンビニのように無人化が進むと、スーパーに行けば良いということになる。これからも魚を自由に見ながら選べるようにしてほしい。		B
9	月に数回、朝、南部市場に行って水産物を購入している。老朽化の問題はあるが、多種多様な海産物に出会える貴重な場所であり、店舗の方の対応も優しく丁寧で、とても素晴らしいと感じる。売上が増えているとのことで大変素晴らしいと思う。関係者の方には厚く御礼申し上げる。日頃の感謝を伝えられると思いコメントさせていただいた。引き続き、購入することで支えたい。応援している。		B
10	立地も良く、各店舗のサービスも良		B

	く、そしてイベントも多く、大変素晴らしい市場だと思う。		
11	北部市場と同様に食を中心として市民をはじめ人々が集まる空間やサービスの提供を期待している。食イベントの開催、カルチャー施設の併設や、新横浜ラーメン博物館のような施設の設置を望む。	南部市場が「地域密着型食品流通の拠点」として市民等の食生活を支えるとともに、親しまれる卸売市場として運営を続けていく上では、一般消費者にも気軽に御利用いただける場所となることが重要であると認識しております。令和7年度に策定予定の	C
12	講座ができるスタジオやキッチン等を設置し、もっと市民が利用しやすいようにしてほしい。	次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、施設の老朽化等の問題への対応を踏まえた今後の施設のあり方に関する方向性を示すため、敷地内において必要な機能やその適切な規模等について、検討を進めてまいります。	C
13	地域の食の安定的な確保、非常時の食や避難品の備蓄場所としても必要。幸区民のコミュニティの場としても期待できる。再整備に当たっては幸区のシンボルとして区民がふれあい、永続的に残るよう熟考して欲しい。	南部市場は、災害時を含めた市民等への生鮮食料品等に供給拠点として重要であります。施設の老朽化や災害時における機能発揮に関する問題を抱えており、既存施設への対応が必要であると認識しております。また、市民等の食生活を支えるとともに、親しまれる卸売市場として運営を続けていく上では、地域の方々が気軽に御利用いただける場所となることが重要であると認識しております。令和7年度に策定予定の次期『(仮称)川崎市卸売市場経営プラン』において、南部市場が抱える問題への対応を踏まえた今後の施設のあり方に関して方向性を示すため、『基本的な考え方』案に基づき、引き続き、検討を進めてまいります。	B
14	エネルギー利用効率を高めるため、熱の有効利用を図ることを提案する。具体的には、市場内に温浴施設、フィットネス施設等を設置し、施設内にショップを設け、地元で取れた農産物等を販売することにより、南部市場のビジョンである「地域密着型食品流通の拠点」として、「地域に根ざした南部市	南部市場が市民等の食生活を支え、親しまれる卸売市場として運営を続けていく上で、エネルギー利用効率を高める等、環境に配慮した取組も重要であると認識しております。今後、施設の建替えを行う場合には、『基本的な考え方』案「第4章4(3)敷地の有効活用の可能性に関する視点」に記載のとおり、卸売市場との親和性を考慮	D

	場の活性化を実現する」という視点を踏まえた敷地活用が可能であると考え	し、場内事業者との新たな取引や、場内事業者間の取引の活性化につなげるといった可能性や、「賑わい創出」、「食育や食文化の発信」、「地域課題等への取組」といった観点を踏まえて、敷地内の用途に関する検討を進めることを考えております。	
15	南部市場でしか買えないものを市で紹介することや、ふるさと納税の返礼品として取り扱うこと等を行っていただきたい。	南部市場における取組や取扱商品に関する認知度の向上を図ることは重要と考えており、本市のウェブサイトや、指定管理者による SNS、ブログ等を活用した PR を行っております。日常的に利用している方だけでなく、普段利用していない方に対しても、南部市場のことを知っていただき利用の促進につなげられるような取組の実施について、指定管理者等と連携し、検討してまいります。	C
16	こども食堂などの拠点として市場は有効であると考え	南部市場が生鮮食料品等を取り扱う拠点であり、卸売市場ならではの強みを持つことを活かし、市民等にとって必要とされる卸売市場の実現に向けた取組について、引き続き、推進することが重要と考えております。指定管理者や複数の場内事業者がこども食堂への食材提供を行っておりますが、こども食堂への食材供給の拡大や、南部市場を活用したこども食堂の運営を行う等の取組についても、引き続き、指定管理者や場内事業者等と連携・協力しながら検討してまいります。	B
17	市民の誰もが食について困窮することがないように、フードドライブやこども食堂への食材提供等の中心的な場所になってほしい。		B
18	老朽化と機能的課題を抱える南部市場について、防災道の駅や地域産業振興センター、さらに近年のサウナブームを捉えたサウナに特化したスーパー銭湯といった機能を導入することで、日常の集客力と観光集客力を大幅に高める複合拠点へ再編し、ひいてはふるさと納税による税収流出に対抗する「川崎ブランド」を打ち立てることが可能ではないか。サウナに特化したスーパ	『基本的な考え方』案「第4章2(4)南部市場のあり方に関する考え方のまとめ」に記載のとおり、今後も、本市として場内事業者の事業拡大や経営基盤の強化等に対する支援を行うとともに、市内事業者等との連携を図ることで、場内事業者の発展の好循環を作り出し、南部市場全体の活性化に加え、市内経済の発展に寄与することも重要であると考えております。また、南部市場が抱える施設の老朽化等の問題への対応	D

	一銭湯を核にして、日常利用客を継続的に集めることで、平日・週末問わず施設全体の賑わいを維持するだけでなく、天然温泉が湧出すれば大きな話題性を獲得し、「サウナ日本一」を目指すような攻めのブランディングも可能と考える。	に向けた今後の施設のあり方について、検討を行う必要があると認識しております。今後、施設の建替えを行う場合には、『基本的な考え方』案「第4章4(3)敷地の有効活用の可能性に関する視点」に記載のとおり、有効活用の用途を検討する上で、卸売市場との親和性を考慮し、場内事業者との新たな取引や、場内事業者間の取引の活性化につなげるといった可能性や、「賑わい創出」、「食育や食文化の発信」、「地域課題等への取組」といった観点を踏まえて、検討を進めることを考えております。	
19	防災道の駅としての備蓄倉庫や非常用電源設備を整え、災害時の地域拠点としても機能を設けるのが良いのではないか。		D
20	地域産業振興センターを併設し、テストキッチンを設置することによる食品加工支援や起業支援を行うことで、ふるさと納税の返礼品開発や地元企業の成長の後押しにつながるのではないか。		D
21	公民連携で「川崎商社」を設立して返礼品等を一元管理し、全国へのEC販売や企業版ふるさと納税誘致を積極的に展開することも考えられる。このように、多様な機能を複合的に盛り込み、一つの拠点で「食(市場)」、「癒し(温浴・サウナ)」、「観光(飲食・イベント)」、「防災(道の駅)」、「ビジネス(地域商社・産業センター)を完結できる形を目指すことで、従来の市場のイメージを刷新し、川崎市全体のブランディング強化と、ふるさと納税寄附額の増加、雇用創出、地域経済活性化、防災力の向上に同時に寄与することが可能ではないか。		D
22	市場関係者にとっては当たり前のことでも、市民にとって知りたい情報、市場に行ってみたいということにつながる情報であったりと思う。例えば、スーパーマーケットと違い、市場には旬の魚が多く揃っており季節によ	南部市場を日常的に利用している方だけでなく、普段利用していない方に対しても南部市場のことを知っていただき利用の促進につなげられるように認知度向上を図ることは重要と考えております。今後も、本市や、指定管理者によるPR活動について、	C

	<p>って脂ののり方が違うこと、また、ロシアとウクライナの戦争が始まった当初、何か月もサーモンが入荷されなかったように食の供給は世界とつながっていること、さらには、台風が関西にある時でも入荷が少なくなり自然の偉大さを感じたことなど、このような情報発信を市場関係者が行うと良いのではないか。</p>	<p>指定管理者、場内事業者との情報共有を図るとともに、適切なPR手法について検討を進めてまいります。また、『基本的な考え方』案「第4章2(1)エ 今後の発展性に関する視点」において、食文化の発信や地域貢献に関して現状考えられる取組を記載しておりますが、これらの取組と併せて、指定管理者、場内事業者と連携・協力し、南部市場のさらなる発展に向けた取組について、今後も検討を進めてまいります。</p>	
23	<p>中学校、高校にも協力してもらい、部活動の一環として地域の小・中・高校生が取材し、情報発信するための「こどもクラブ」の運営を提案する。職業体験、キャリア教育として市場の情報を小学校や中学校、高校へ届けることができるのではないか。また、高校生については、横須賀市にある神奈川県立海洋科学高等学校は、毎年のように川崎市や横浜市に在住する方も入学していることから、南部市場の近くにも魚に興味のある生徒がいると思うので、コラボ企画もできるのではないか。川崎市で活動するNPO法人を運営する者として、子育てや社会教育のプログラムを通したまちづくりコーディネートをしており、協働することも可能なので検討いただきたい。</p>		C
24	<p>学校給食で南部市場発のものを使用することや、学校と南部市場をつなぐ食育の授業の取組等によって、産地と消費者を結んでほしい。</p>	<p>食育に関して、『基本的な考え方』案「第4章2(1)エ 今後の発展性に関する視点」に記載のとおり、給食の献立と連動した食育支援を行うことや、市内農業者を講師に招いた料理教室を開催すること等の取組が考えられます。生鮮食料品等の供給に加え、食育や食文化の発信のさらなる充実により、市民等への貢献につなげられるよう、今後も指定管理者、場内事業者等と連携し、『基本的な考え方』案に基づき、引き続き、検討を進めてまいります。</p>	B
25	<p>学校給食の分野を伸ばすなど、卸売市場ならではの取組に期待している。南部市場発の献立などがあれば、子ども達も喜ぶのではないか。子育て世代に安心な川崎市になって欲しい。</p>		B

(5) 都市計画・交通環境に関すること (2件)

No.	意見の概要	意見に対する本市の考え方	区分
1	民間事業者が事業へ参入しやすくするために、都市施設市場の規制を外すこと、また、建築物の高さ 20m の規制を最低でも 30m に緩和していただきたい。	『基本的な考え方』案「第 4 章 4(4)事業手法に関する視点」に記載のとおり、南部市場の建替えを行うことになった場合には、卸売市場に求められる機能等を発揮するため、敷地の有効活用も踏まえ、民間事業者の参入意欲を促し、そのノウハウを最大限活用することが重要であると認識しております。都市施設市場や高度地区等の都市計画等に関する整理につきましては、令和 7 年度に行うサウンディング調査等により、民間事業者の意見を聴取し、その結果を踏まえた上で整理を行い、示してまいります。	D
2	コンパクトではなく大きいコミュニティバスの停留所を設置してほしい。	南部市場は最寄り駅である尻手駅から約 300m の位置にあることに加え、周囲のバス停からは複数のターミナル駅とつながるバス路線が発着する等、充実した交通環境に立地しております。こうした交通環境の良さや、中心市街地にあり周辺には商業施設等が集積しているというポテンシャルを活かして、地域の皆様に気軽に御利用いただくことができ、地域に愛される場所となることを目指してまいります。	D

(6) その他 (5件)

No.	意見の概要	意見に対する本市の考え方	区分
1	街中で卸売市場を通さず仕入れをしているチェーン店が目立つが、卸売市場で仕入れをしている個人による飲食店は概ね集客が好調であると感じる。それは、均一化されたどこにでもあるメニューではなく、「卸売市場で仕入れしている」という実績が、そのまま店の看抜になっているのだと考える。	南部市場が、市民の食生活を支え、より発展、活性化して地域に貢献していく上で、品揃えの充実や、より多くの市内飲食店等に御利用いただくことが重要であると考えております。そのため、部門内や部門間での情報共有の場を拡充し、一般消費者等の要求に応えられる品揃えの実現を図ること、また、関係機関と連携し、市内飲食店等に対して仕入れ等の働きかけを行うとい	E

		ったことが考えられます。さらに、南部市場の認知度を向上させることも重要と考えておりますので、本市のウェブサイトや、指定管理者による SNS、ブログ等を活用した PR 活動について、指定管理者、場内事業者との情報共有を図るとともに、適切な PR 手法について検討を進めてまいります。	
2	食堂の各店舗が川崎市の受動喫煙防止対策に準拠し、店内は禁煙にしていきたい。	令和 2 年 4 月 1 日の健康増進法改正に基づく本市の受動喫煙防止対策においては、法改正前から営業している飲食店は、店内の全部または一部を喫煙及び飲食可能とできるため、現在、食堂の一部店舗において喫煙が可能となっております。今後とも敷地内の安全衛生に関して、指定管理者や場内事業者と連携・協力し、御来場いただいた方に安心して快適に過ごしていただけるよう取組を検討してまいります。	E
3	電子決済サービスの店舗数を増やす取組を行政としてサポートしていただきたい。	市民等から親しまれる卸売市場として運営を続けていくため、一般消費者が気軽に御利用いただける場所となることが重要であると認識しております。各店舗における購入のお手続きに関しては、場内事業者に対して、国や本市が実施する支援策の紹介、経営支援を行う関係機関への仲介等を積極的に行うこと等を通じて来場者の利便性の向上につながるよう取り組んでまいります。	E
4	「いちばいち」で魚介を買う際の手続きが面倒である。手書きの伝票は必要か。検討いただきたい。		E
5	南部市場の卸売業者を通して青果や水産物を販売している、川崎市に本社を構える事業者が経営するスーパーマーケットについて、品物の陳列や広告等において「川崎南部市場直送」と必ず銘打つようにすることで、川崎市及び南部市場のブランド力や認知度の向上に貢献するよう当該事業者に働きかけていただきたい。	南部市場を日常的に利用している方だけでなく、普段利用していない方に対しても南部市場のことを知っていただき利用の促進につなげられるよう認知度を向上させることは重要と考えております。今後も、本市のウェブサイトや、指定管理者による SNS、ブログ等を活用した PR 活動について、指定管理者、場内事業者との情報共有を図るとともに、適切な PR 手法について検討を進めてまいります。	E

